

～効率的で分かりやすい行政を目指して～

# 4月1日から 白石市の 組織・機構などを再編しました

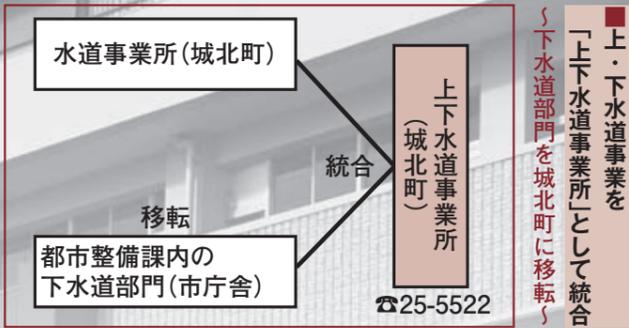
広報しろいし2月号でもお知らせしましたが、本市では、4月1日から組織の再編や整理を行いましたので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●市道と農林道部門を統合  
市道・農道・林道などにかかわらず、道路・水路のことはすべて建設課で担当します。

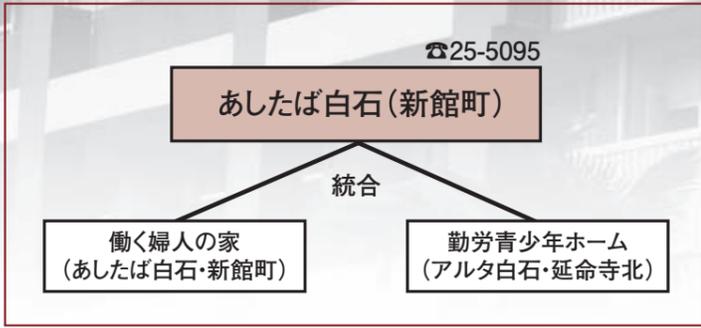
さらに、需要の多い公共物の管理（里道・水路の占用許可や境界立ち会いなど）業務を担当する「行政係」も新設しました。

都市整備課内の下水道部門を水道事業所（城北町）に移転し、水道部門と組織を統合しました。

なお、上下水道の開始・中止手続きなどについては、移転後も引き続き市庁舎（2階都市整備課）でも受け付けします。

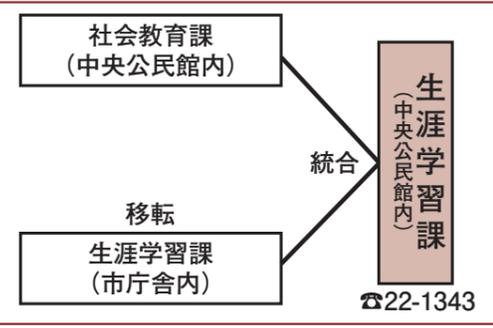


●企業立地推進室を新設  
「企業誘致を強力に推進」  
商工観光課内に企業立地推進室を新設しました。



●働く婦人の家と  
勤労青少年ホームを統合  
「新名称は「あしたば白石」に」  
「働く婦人の家（あしたば白石・新館町）」と「勤労青少年ホーム（アルタ白石・延命寺北）」を統合しました。勤労青少年ホームは閉館し、新「あしたば白石」として、旧働く婦人の家の建物で事業を実施します。

●工事検査室を財政課に統合  
工事検査室を廃止し、財政課内の「検査係」として業務を実施します。



●生涯学習課と  
社会教育課を統合  
「新「生涯学習課」を」  
中央公民館に設置」  
社会教育課と生涯学習課を統合し、中央公民館内に新「生涯学習課」を設置しました。  
また、「情報センター（アテネ・巨理町）」「古典芸能伝承の館（碧水園）」も生涯学習施設として新「生涯学習課」が担当し、アテネは隣接する図書館と一元的な事業運用を図ります。  
なお、「やる気応援事業」などの市民団体活動支援は企画情報課（市庁舎2階）が担当します。

●組織・機構の再編に関する  
問い合わせ先  
行政改革推進室（市庁舎3階）  
☎22-11561

●農林課の係名称を変更  
「分かりやすい組織名称に」  
これまでの「農政係」「林務係」「農林土木係」に替えて、主にソフト事業を担当する「農業振興係」、主にハード事業を担当する「農業基盤整備係」、林業全般を担当する「林業振興係」に係の名称を変更しました。

●「暮らしの便利帳」が一緒に  
なった電話帳が配布されます  
昨年11月に、「テレパル50」という名の電話帳を発行している（株）サイネックス社と本市が提携して、電話帳と「暮らしの便利帳」を統合した新冊子「しろいし暮らしのガイド」を作成しています。  
この冊子は、4月中旬に出来上がり、4月末ごろまでには市内の全世帯に配布される予定となっています。  
冊子には、医療や福祉、防災、各種手続きなど、市民生活全般の情報が詳しく紹介されています。もちろん今回の組織・機構の再編も含めて掲載していますので、ぜひ活用ください。

●農業の振興  
市独自の農業振興施策として、認定農業者・集落営農を加速化させる取り組みや、地域の立地条件を活かした特色ある農林業の展開など、市内すべての地域で意欲を持って取り組みとする農業者・農業団体への支援を行います。  
また、優良農地などの耕作放棄地の解消・防止を図るため、農用地の利用集積を奨励します。食育と地産地消の促進を図るため、学校給食食材に白石産「こだわり米」や地元産の野菜などを取り入れます。  
新たに地産地消の促進を図るため、市内で生産される農産物の認証制度などを話し合う協議会を立ち上げ、生産者と消費者の信頼関係を高める取り組みを始めます。

●安全・安心なまちづくり  
自主防災組織も、現在64自治会となりました。組織づくりのための支援を行うほか、自主防災組織が行う訓練などにも助成の拡充を行います。  
また、災害に備え、姉妹都市との相互援助協定などを締結していますが、今後も新たな協定を締結していきます。  
さらに、資器材を計画的に備蓄するなど、防災関係機関との防災体制の連携強化と、行政と市民が一体となる計画的で柔軟な災害対策の推進を図ります。

●しろいしとやすらぎのあるまち  
誰もが安全で安心して暮らすことができるよう、地域医療の確立、防犯防災・環境対策として都市基盤整備を推進します。

●環境対策  
平成18年度から展開している「しろいし エコ プロジェクト」（愛称「もったいない運動」）は、さらに環境に配慮した、事務・事業に取り組みます。豊かな自然環境を守るため、継続してごみの減量化とリサイクルの

●都市基盤の整備  
都市計画道路「沖の沢郡山線」の平成23年4月の開通を目指します。このほか、市道・農道の改良と舗装工事にも鋭意取り組んでいます。

●第5次白石市総合計画の策定  
平成13年度を初年度とした第4次白石市総合計画は平成22年度に終期を迎えます。  
このため、平成21年度から、平成32年度を目標年次とする第5次総合計画の策定に着手します。この計画は、市政の基本理念である「共汗・共学・共生」による「市民総参画のまちづくり」を基本に、アンケートやワークショップを開催しながら、本市の将来像を総合的にとらえた、市民に分かりやすい総合計画として考えています。

